



玉江小学校だより

# 玉江の教育

ホームページURL <http://www.keinet.com/tamaes/>

令和5年8月発行  
鹿児島市立玉江小学校  
第 5 号

## 夏休みの一コマから

玉江小学校 校長 佐々木 好彦

### 「できる」喜びを味わわせることの大切さを再認識して

コロナ禍による行事の精選・整理の判断が校長の大きな役割と自覚しつつ、実際を経験しておらず精選の対象とできなかったものが、水泳の苦手な児童のための水泳教室（俗称チャレンジ25）。同時進行の全保護者を対象とした教育相談をお願いしていることもあり、学級担任の先生方にはそちらに専念していただき、校長・教頭・専科の先生方を中心に指導にかかわることで、その効果を検証するため何とか残しました。



5・6年生を対象としましたが、応募する児童がいるのかという不安もありつつ、結果としては26名の児童の申し込み。指導者も特別支援学級担任も数名、特別支援教育支援員の先生方の加勢もいただき10人弱の体制がとれ、3グループに分けてスタートしました。①「小プールで顔をつける、もぐる、蹴伸びをする」からのスタートのグループ ②プールの半分10m余を目指すグループ ③いくらか泳げて25mを目指すグループ。1人が数人を受け持つ形で、あるいは1人が全体の指導をし、他の数人が個別にかかわる体制をとることができたため、一人一人にもぐるための、水面を滑るように進むための、苦しくない息継ぎをするためのコツを伝え、励ましながらのかかわりができました。



1～2秒しかつけれなかった顔が→5・6秒→10秒と長くなり、壁をけて2かきしかできなかった腕が4かき・6かきに伸び、息継ぎ1・2回が→4回→6回と伸びていき、それに連れてプール半分が三分の二へと……。数字が伸びていくこと、小さなできることが増えていくことが児童を夢中にさせ、スタートのプールサイドに来ると、すぐに次のチャレンジを始める子供たち。

水泳の苦手な児童が対象ですので、授業中はいくらか消極的な取組であったであろうと想像しますが、次々に挑戦し、25m泳げるようになった児童が一人、また一人。中にはゆっくりではありますが、50m・75mに挑戦する児童もあり、できる喜びはこんなにまでやる気にさせるのかということに改めて認識する幸せな時間になりました。校長職に就いてからいくらか児童にとって遠いところにいる、できる喜びを味わわせるチャンスが少なくなっていた私に児童にかかわる喜び・醍醐味を思い起こしてくれる貴重な機会でした。

### 同窓会に参加して

私事で大変恐縮ですが、紙面を割かせていただきます。今年の夏は、制限なしで集まれるようになったことに加え、私自身が暦が還る区切りの年になっていることも相まって、多くの集まりに参加することができました。①小学校の時の同窓会では、成人式の時に会った以来40年ぶりの友も。地元に残り、集まる拠点を作ってくれている友もおり、都会で技術者として開発に明け暮れている友、割と大きな企業の社長として経営に奔走している友もおり、刺激いっぱいでした。○年生の○○先生の時に自分は変わったと話す友もいました。②大学時代に単位をとる苦勞を共にした学友との会、熊本・長崎・佐賀・宮崎から参加している学友もおり、各県の教育事情を教えてもらったり、それぞれの学校で経営をする立場としての面白みや苦勞を語り合ったりしました。③④過去勤務した学校で集まり2校の先生方とどう指導をすればよいか苦しんだことや失敗談を思い起こし、先輩からの教えに感謝しつつ、先輩らしいことができていないことを反省しつつ……。



このように会合に呼んでくれる友や同僚がいることに感謝しながら、今、日々の成長に関わらせていただいている子供たちの40年・50年後までとは言わずとも、社会のど真ん中で活躍しているであろう20年・30年後に集まる機会があった時に玉江小学校の○年生のあの取組が心に残っていて、今の自分の礎になっていると言ってもらえるような取組になっているのか。とても感動していつまでも心に残っていると言ってもらえそうな取組が積み上げられているのか。日々の地道な学習も大切にしつつ、その学びを総合させた体験型の学習をスパイスとしながら、1時間・1時間が心が動く学びになっているのか。じっくり考えられる残り10日を有意義に使い2学期に備えなければと思う今日この頃です。



## 栄門市場で伊敷長なすを販売しました

7月16日、玉江小学校のお隣の栄門公園近くで、7月の栄門市場がひらかれ、5年生の有志が自分たちで栽培した「伊敷長なす」を販売しました。

午前9時からの販売開始に合わせて、8時に集合した子どもたち約30名が、まず、伊敷長なすを収穫し、水洗いしてキッチンペーパーでふき取り、袋詰めしてパッケージシールを貼るなど、分担して手際よく準備をしました。長机を運んだり、パンフレットを折ったりする作業も協力し合っていました。

今回は、事前に宣伝をしていなかったため、地域の方々への声かけなども子どもたちが自主的に行いました。買ってもらえた時の喜びをみんなで味わい、接客や宣伝の上手な友達に感心したり認め合ったりすることができて、とても素敵な販売体験になりました。

おかげさまで、50袋以上準備した伊敷長なすは、完売することができました。お買い上げにご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

## 1学期終業式



7月20日、1学期の終業式が体育館で実施されました。

代表児童のあいさつでは、2年生の實地未来さんと5年生の漆島智紗さんが、1学期にできるようになったことや夏休みに頑張りたいことなどを、たくさんの児童の前で、はきはきと上手に発表しました。二人とも聞いている友達を見ながら堂々と話し、思いが伝わるすばらしい発表でした。

その後、保健委員会からのお知らせでは、グラフを作成して具体的な数字を示し、校長先生や生徒指導の先生の話では、プレゼンテーションソフトのスライドを活用して、分かりやすい工夫で集中して視聴することができました。

吹奏楽部の演奏による校歌斉唱では、力強い歌声が体育館に響いていました。

## かごしまの畜産体験学習会



7月28日、「かごしま畜産の日」実行委員会（県農政部畜産課内）の主催による「かごしまの畜産体験学習会」が開催されました。玉江小から40名の児童・保護者が出席し、薩摩川内の県酪農乳業や阿久根のスターゼンミートプロセッサの見学、バターづくり体験などを通して、社会科の授業の発展学習や夏休みの自由研究の調べ学習として楽しく、そして、熱心に学びを深めました。

## 玉江校区あいご会体育大会



7月30日、各単位あいご会でチームを編成し、上学年はドッジボール、下学年は転がしドッジボール、一般の方々はミニバレーボールを楽しみました。それぞれ予選リンクから勝ち上がったチームが決勝戦を行い、校庭や体育館に歓声が響いていました。

中学生が審判をしてくれたのもありがたく、素敵な大会となりました。

第三位、準優勝、優勝のチームには、玉江小145周年記念大会特別トロフィーやお菓子、温泉入浴券などの副賞、そして、お菓子で作った大きなトロフィーなどが用意され、子どもたちも大喜びでした。

## 9月の主な行事予定

- |        |                          |  |
|--------|--------------------------|--|
| 1日(金)  | 2学期始業式(給食有)              |  |
| 4日(月)  | 3校PTA挨拶運動                |  |
| 9日(土)  | 土曜授業日                    |  |
| 13日(水) | クラブ活動                    |  |
|        | 鹿児島大学学校体験実習(15日まで)       |  |
| 15日(金) | スクールカウンセラー来校(9:00~12:00) |  |
|        | 玉エコの日                    |  |
| 20日(水) | クラブ活動                    |  |
| 22日(金) | 芸術鑑賞会(1~3年生), 親子読書の日     |  |
| 26日(火) | 授業参観・学級PTA(高学年, ひなぼぼ)    |  |
|        | 修学旅行説明会(6年生, 5校時, 体育館)   |  |
| 27日(水) | 授業参観・学級PTA(中学年, ひなぼぼ)    |  |
| 28日(木) | 授業参観・学級PTA(低学年, ひなぼぼ)    |  |
| 29日(金) | 学校運営協議会                  |  |